

空気環境の測定のレポートについて

そろそろ、皆さん、ある一定のレベルのレポートになってきたように思います。少なくとも、レポートとしての「かたち」は整っていると思います。今後は、更に考察に「深み」が増すといいのですが・・・。

- 1) 「下図」としてあるのに図がない人がいました。注意しましょう。
- 2) 揮発性有機化合物の測定を行った際の室内の平均気温についても、その測定方法などについてもう少し触れておきましょう。
- 3) 平面図では、窓や扉が開いていたのか、それとも閉まっていたのか、が不明な人がいました。きちんと記入しましょう。また、測定ポイントの間隔がわかるように最低限の寸法は入れましょう。
- 4) 室内の気流分布を測定する際には、あわせて風向も確認しておいた方がよかったです。今後の課題です。また、同時に屋外の風速風向も測定すべきでした。
- 5) 例えば、ある管の中を空気や水が流れる場合、 $(\text{流量}) = (\text{流速, 風速}) \times (\text{断面積})$ の関係があります。
- 6) 考察の段階で疑問が生じたのであれば、図書館などで参考となる本を探して、できるだけ自分で調べて、解決するようにしましょう。
- 7) 未だに、たまにですが、変換ミスが見られます。注意しましょう。
- 8) 空気の流れを目に見えるようにする（可視化する）のは、非常に難しいものがあります。線香や発煙筒などの煙を使って、可視化することが多いですが・・・。
- 9) 考察の中で、気流分布について触れていない人がいました。忘れずに触れておきましょう。